

2019年2月14日

各 位

会 社 名 ピクセルカンパニーズ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉田 弘明
(コード番号 2743 JASDAQ)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役管理本部長 山元 俊
電 話 03-6731-3414

中期経営計画の取り下げに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2018年3月29日に公表いたしました2020年12月期を最終年度とする3ヶ年の中期経営計画を取り下げるについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の取り下げの背景

当社グループは、2017年12月期までに事業ドメインの選択と集中を行い、成熟市場から成長市場へ事業ドメインをシフトし、太陽光発電施設の販売・取次を行う「再生可能エネルギー事業」、金融機関向けシステム開発・システムインテグレーションを行う「フィンテック・IoT事業」、カジノゲーミングマシンの製造・開発を行う「IR関連事業」をコア事業とし、グループ全体の企業価値向上及び各事業の基盤構築を進めて参りました。しかしながら、2018年12月期実績では、2018年12月21日に公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当初計画に対し大幅な未達となりました。

経営戦略で掲げておりました「収益資産に対する積極投資」につきましても、「フィンテック・IoT事業」では、ASIC（マイニングマシン）に投資を行い、仮想通貨（ビットコイン等）のマイニングで安定収益の獲得を計画しておりましたが、ビットコインの市場価格の大幅な下落及びハッシュレートの急騰等により、市場及び事業環境が大きく変化し、ASICの投資等について再検討し、一時中止としておりますが、今後の市場動向等を勘案して再度投資判断を行うこととしております。また、「再生可能エネルギー事業」では、2018年12月期第2四半期において棚卸資産として計上していた小形風力発電施設の認定ID取得等に係る費用を「棚卸資産の評価に関する会計基準」に基づき評価を行い棚卸資産の評価損64百万円を計上し、当該損失分等を補うために資金の流動化及び利益の確保のため、販売用の太陽光発電施設の仕入を優先させてきたことから、当初計画していた3メガワット分の自己保有の太陽光発電施設の仕入を行うことができませんでした。

一方、経営戦略のうち「事業の継続的成長に向けた投資戦略」では、安定収益の獲得の為の収益資産への投資は上記のとおり未実施でありましたが、シナジー創出において「IR関連事業」及び「再生可能エネルギー事業」間での新市場創出へ向けた投資として「e-sports事業」への参入を決定いたしました。

「e-sports事業」では、マカオやラスベガス等のIR施設にe-sportsスタジアムが併設されていることや、e-sportsスタジアムで利用できるプライベートブロックチェーンを用いたコインに対する関心もe-sports分野で高まっており、「フィンテック・IoT事業」におけるブロックチェーンスマートコントラクトシステム受託開発でのシナジーも期待している分野となります。なお、「再生可能エネルギー事業」における太陽光発電所に係る用地仕入等で培った不動産ノウハウ等もe-sportsスタジアム開設等で活かせるものと考えております。

このような背景を踏まえ、2018年3月29日に公表いたしました中期経営計画（経営計画の業績及び投資額等の数値を含む）に関し、当社グループの事業環境や市場環境が変化しており、また、資金の流動化

及び利益の確保の必要性から改めて慎重に検討を重ねていく必要があると考えることから取り下げることにいたしました。

しかしながら、中期経営計画で掲げておりました収益資産に対する積極投資については、安定収益の確保のため、実施していきたいと考えており、下記の対象資産及び投資金額を目標に掲げて各事業に取り組むことを計画しております。

当社が目標とする収益資産に対する投資金額

事業	対象資産	目標投資金額
IR 関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・カジノゲーミングマシン ・カジノプラットフォーム 	2020 年 3 月までにカジノゲーミングマシン 4.8 億円、2019 年 4 月までにカジノプラットフォームはプロモーション含み 0.5 億円
再生可能エネルギー事業	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電施設 	2020 年 12 月までに 10MW を目標とし、約 34 億円 (※) 個別太陽光発電施設の表面利回りは 11% を目標とするなお、投資目標額の約 34 億円については、その全額が自己資金ではなく、当該設備を担保とする借入等が 8~9 割含まれております。

(※) 当社グループとしては、自己保有用の太陽光発電施設を取得し保有することにより安定収益の獲得を目指してまいりますが、当社グループ全体の業績、資金需要から資金の流動化、利益の確保を行う必要があることから、資金の流動化及び利益確保を優先させ仕入を行った太陽光発電施設を販売用に切り替えて販売していくことも想定しており、投資計画を達成できない可能性がございます。

また、上記収益資産に対する投資金額の他に、e-sports スタジアムの取得や運営等を行う e-sports 関連事業者への投融資を行うことを検討しておりますが、目標投資金額は未定です。なお、当社グループは昨年 11 月時点では、当社グループ単体で e-sports 事業の展開を計画しておりましたが、複数事業者と共同で事業展開を行うこととし、現在協業先の選定を行っております。

2. 今後について

新たな計画の策定期間については、未定とさせていただきます。今後、当社グループを取り巻く市場環境及び事業環境を踏まえ、計画策定が可能となり次第、公表させていただく予定でおります。

以上